

「予算会計」 演習問題11 (予算編成方針：仕入高実績予想)

改訂増補 「予算会計」 <清文社> (共著)

(書籍では省略：参考：P 1 0 ・ 1 1 [仕入高])



2016.11



宝印刷グループ

株式会社スリー・シー・コンサルティング

公認会計士 児 玉 厚



3C CONSULTING

執筆者紹介



児 玉 厚 （公認会計士）

＜略歴＞ 昭和57年埼玉大学経済学部卒業、神鋼商事(株)財務部経理課、東陽監査法人を経て、現在 宝印刷グループ (株)スリー・シー・コンサルティング代表取締役。

- ①**実績開示**：日本発の法定開示書類の組替・計算・転記・照合を自動化するシステム開発（特許取得）
現在宝印刷グループとして後継機**X-Smart. Advance**共同開発
- ②**計画開示**：日本発の「予算を自動仕訳化」し、P L ・ B S ・ C F ・ 資金予算を早く、正確に
自動作成する「**予算会計エクスプレス**」（特許取得）開発・販売・コンサルティングなど

ES 予算会計エクスプレス

【主要著書】（すべて清文社・共著含む）改訂増補「予算会計」「企業予算編成マニュアル」
「有価証券報告書完全作成ガイド」「開示決算ガイドブック」「会社法完全作成ガイド」
（上記すべて清文社）『連結決算・開示実務 演習テキスト』（中央経済社）

開示教育関連メルマガ

① 予算開示関係

【予算会計を学ぶ】（担当：児玉 厚）

月曜日：予算会計クイズ
火曜日：『企業予算編成マニュアル』解説
水曜日：業績予想の修正理由一覧
木曜日：予算実務知識Q & A
金曜日：予算実務のポイント
時事ネタの「ほっと川柳」が大好評！

<https://www.3cc.co.jp/yosan/top.php>

（メルマガ読者の声）

児玉先生 メルマガ&著書の愛読者です。私は、先生のメルマガにどれだけ救われているかわかりません（笑）。
これからもダイナミックかつ繊細な活動を期待しております。



② 実績開示関係

【開示会計を学ぶ】（担当：高橋 幹夫）

- ・ 会計ニュースダイジェスト
- ・ 財務報告実務検定にも役立つワンポイント開示会計問題演習
- ・ 訂正報告書などの分析調査
- ・ 最新法令等改正のコンパクトなビジュアル解説
- ・ 児玉厚の開示川柳
- ・ その他、会計コラムや開示実務のウラ話など

<https://www.3cc.co.jp/kaiji/top.php>



「予算会計」とは

「予算財務諸表」を作成する理論をいう。

ここでいう「予算財務諸表」とは、下記をいう。

「予算損益計算書」

「予算貸借対照表」

「予算株主資本等変動計算書」

「予算キャッシュ・フロー計算書」

「月次資金計画書」

演習の仮設モデル

2社から
仕入

単一
商品

2社へ
販売

仕入
先

X社

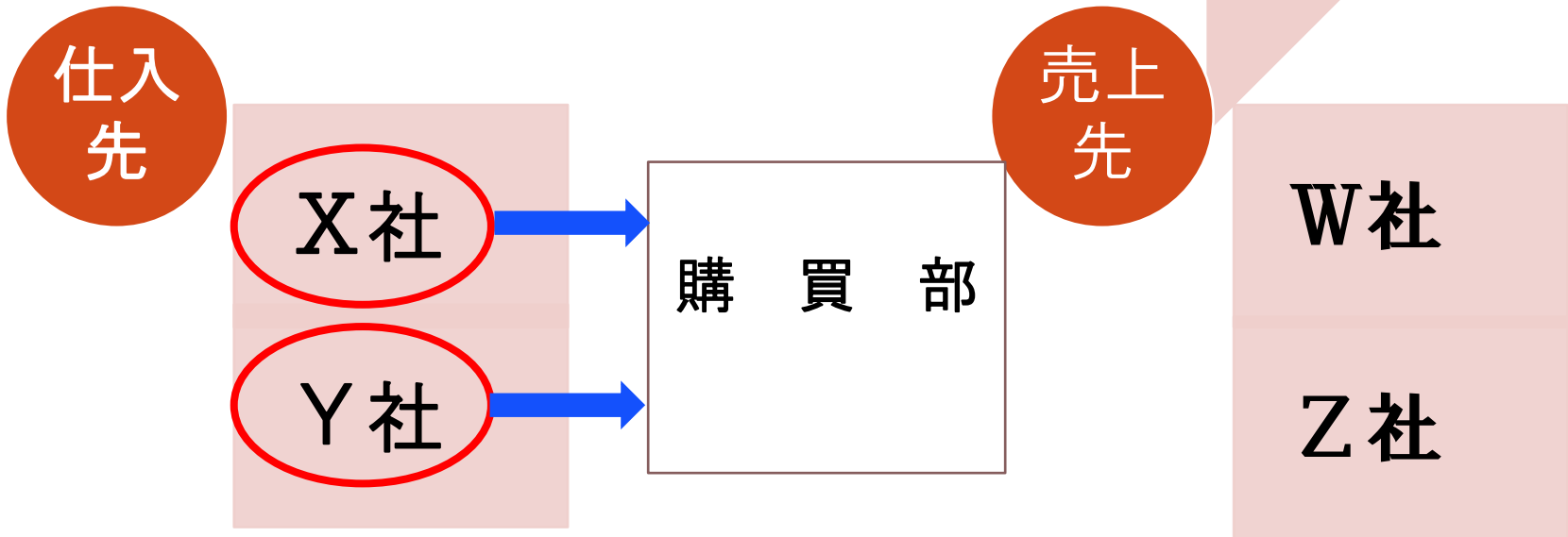
Y社

購 買 部

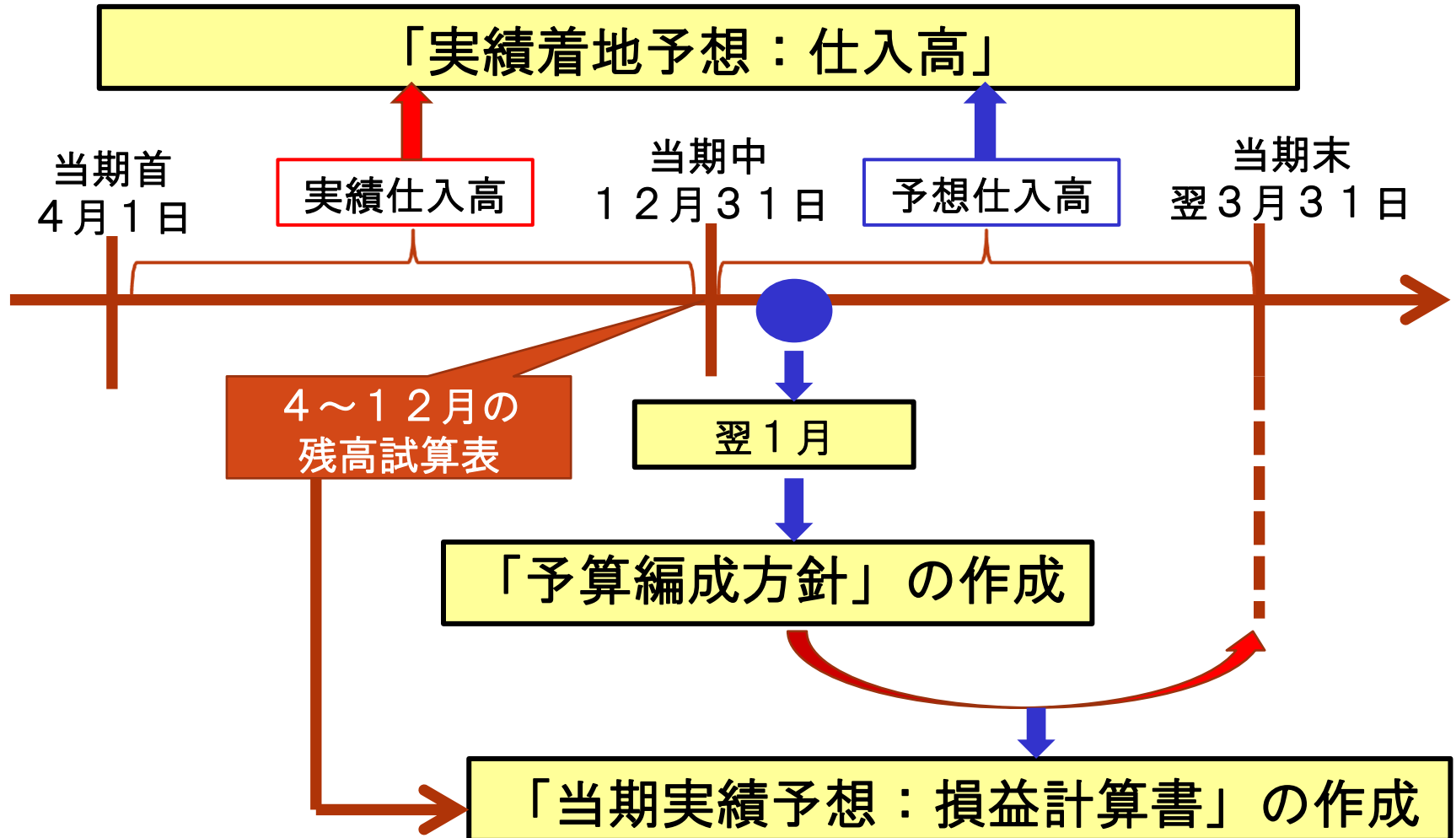
売上
先

W社

Z社



予算編成方針の作成 「実績予想：損益計算書」の作成



実績予想作成フロー（その1）

[1] 当期実績予想：全社販売計画書

(4~12月実績 + 翌1~3月予想)

P1

※書籍のページ番号ではなく問題のページ番号です。

月次出庫数量

[2-1] 当期実績予想：商品仕入兼在庫計画表

(4~12月実績 + 翌1~3月予想)

P2

月次入庫内訳

[3] 当期実績予想：相手先別仕入計画表

(4~12月実績 + 翌1~3月予想) 相手先：X社

(4~12月実績 + 翌1~3月予想) 仕入先：Y社

(4~12月実績 + 翌1~3月予想) 仕入先：合計

P3

[4] 残高試算表 (12月末現在)

P4

P5

[5-1] 当期実績予想：修正後残高試算表
(翌3月末現在)

実績予想作成フロー（その2）

[5-1] 当期実績予想：残高試算表（翌3月末現在）

P5



[6-1] 当期実績予想：損益計算書（仕入高）

P6



[7] 当期実績予想：消費税等計画書（仮払消費税等）

P7

実績予想作成フロー（その3）

[2-2] 当期実績予想：商品仕入兼在庫計画表

P8

期首在庫数量×期首単価＝A：期首商品たな卸高

当期仕入数量×仕入単価＝B：仕入高

期末在庫数量×期末単価＝C：期末商品たな卸高

$A + B - C = D$ ：差引売上原価

[5-2] 当期実績予想：修正後残高試算表 (翌3月末現在)

P9

P L 【売上原価】 期首商品たな卸高＝A

P L 【売上原価】 期首商品たな卸高＝B

P L 【売上原価】 期末商品たな卸高＝C

P L 【売上原価】 差引売上原価＝D

[6-2] 当期実績予想：損益計算書（売上原価）

P10

[8-1] 予算編成方針 ：当期実績の概況と課題（売上原価）

P11

実績予想作成フロー（その4）

[5-3] 当期実績予想：修正後残高試算表
(翌3月末現在)

P9

PL【売上原価】期首商品たな卸高=B= BS【流動資産】商 品

[9] 当期実績予想：
比較貸借対照表（商品）

P12

[10] 当期実績予想
：CF組替仕訳

P13

[11] 当期実績予想：キャッシュ・
フロー計算書（たな卸資産の増減額）

P14

[8-2] 予算編成方針：当期実績の概況と課題
・次期予算編成方針

P15

演習問題 10

解説

予算編成方針： 仕入高実績予想

(改訂増補 「予算会計」 P10・P11 参考)

以下の「空欄」へ記入しなさい。
【制限時間：15分】

(参考資料 1) [1] 「全社販売計画書（当期実績予想）」

[1] 全社販売計画書（当期実績予想）

実績予想：月次在庫数量

月	売上先	販売数量 (kg)	販売単価 (千円)	売上高 (千円)
4～12月実績	W・Z社	(A1) 8 5 5	@ 1 0 0	8 5, 5 0 0
1 月（計画）	W・Z社	(A2) 6 9		6, 8 8 1
2 月（計画）	W・Z社	(A3) 4 7		4, 7 0 0
3 月（計画）	W・Z社	(A4) 2 9		2, 9 1 9
1～3月計	W・Z社	(A5) 1 4 5		1 4, 5 0 0
年度実績予想 売上高	W・Z社	(A6) 1, 0 0 0	@ 1 0 0	1 0 0, 0 0 0

[2-1] 「当期実績予想：商品仕入兼在庫計画表」の作成

[2-1] 当期実績予想：商品仕入兼在庫計画表

月	入庫数量kg			出庫(販売) 数量kg	月末在庫 数量kg
	X社	Y社	合計		
期首					0
4～1 1月	4 5 0	5 0 7	9 5 7	5 6 0	3 9 7
1 2月	4 3	0	4 3	2 9 5	1 4 5
1月(計画)	1 5 1	1 5 0	3 0 1	(7) 6 9	(12) 3 7 7
2月(計画)	0	0	0	(8) 4 7	(13) 3 3 0
3月(計画)	2 2	1 0	3 2	(9) 2 9	(14) 3 3 3
1～3月計	(1) 1 7 3	(3) 1 6 0	(5) 3 3 3	(10) 1 4 5	
当期累計	(2) 6 6 6	(4) 6 6 7	(6) 1, 3 3 3	(11) 1, 0 0 0	

P 1 「全社月次販売計画書」

[3] 「当期実績予想：仕入計画表」の作成

P 4 「1 2月末現在
残高試算表」の作成

[3] 当期実績予想：相手先別仕入計画表

月	仕入高（千円）＜端数四捨五入＞		
	X社	Y社	合計
4～1 1月	27,000	30,420	57,420
1 2月	2,580	0	2,580
1月(計画)	(@60.06) (15) 9,069	(@60.06) (19) 9,009	(23) 18,078
2月(計画)	0	0	0
3月(計画)	(@60.06) (16) 1,321	(@60.06) (20) 601	(24) 1,922
1～3月計	(17) 10,390	(21) 9,610	(25) 20,000
当期累計	(18) 39,970	(22) 40,030	(26) 80,000

P 5 [5－1] 「(×1年3月31日現在)
当期実績予想：修正後残高試算表」へ転記

[4] 「×0年12月31日現在の残高試算表」の作成

[4] 残高試算表 (×0年12月31日現在)						
NO	総勘定科目	貸借	期首残高 (千円)	借方 (千円)	貸方 (千円)	期末残高 (千円)
略	仕入高	借	0	(27) 60,000		(28) 60,000

P3「当期実績予想：仕入計画表」の
4～12月実績合計の値を記入

注：学習の便宜上、円表示を千円表示に変更しております。以下同じ。

[5-1] 「(×1年3月31日) 当期実績予想：
修正後残高試算表」 の「仕入高」の作成

[5-1] 当期実績予想：修正後残高試算表
(×1年3月31日現在の実績予想)

NO	総勘定 科目	貸 借	X0. 12. 31 現在	X1. 1. 1～3. 31 (発生予想)		X1. 3. 31 現在
			実績 残高 (千円)	借方 (千円)	貸方 (千円)	実績予想 期末残高 (千円)
略	仕入高	借	(29) 60,000	(30) 20,000		(31) 80,000

P 4
「12月末現在の残高試算表」
より記入

P 3 「当期実績予想：仕入計画表」の
「翌1～3月の実績予想の仕入高合計」
の値を記入

[6-1] 「当期実績予想：損益計算書」（仕入高）の作成

[6-1] 当期実績予想：損益計算書

NO	科目	変/ 固	消費税	①当期 実績予想 (千円)	② 当期予算額 (千円)	①-②=③ 予算差異 (千円)	④ 予算 差異 率%	分析・ 評価
				課税仕入 (32)		(33)	(34)	
2	仕入高		○	80,000	102,000	22,000	22	B1 販売数量 落込・ 売上キャン セル

仮払消費税等
 = (32) × 消費税等率 8 %
 = (35) 6,400

③予算差異
 収益科目又は利益の場合
 ①（実績）－②（予算）＝③
 費用科目の場合
 ②（予算）－①（実績）＝③

③÷②
 ×100%＝④
 端数四捨五入

[7] 「当期実績予想：消費税等計画書」の作成

[7] 当期実績予想：消費税等計画書

N O	課税科目等	課税科目金額 A (千円)	消費税等 率B	仮払消費税等の金額 $A \times B = C$ (千円)
3	当期商品仕入高	(36) 80,000	8%	(37) 6,400
	・・・略・・・	・・・略・・・		・・・略・・・
⑤	仮払消費税等計	・・・略・・・		・・・略・・・

P 6 の [6 - 1] 「当期実績予想：損益計算書」の
課税科目の「当期商品仕入高」を転記

[2 - 2] 「当期実績予想：在庫計画表【先入先出法】」より、 期末商品たな卸高の計算

[2 - 2] 当期実績予想：商品仕入兼在庫計画表【先入先出法】

月	入庫数量kg			出庫 (販売) 数量kg	月末在庫 数量kg
	X社	Y社	合計		
略	略	略	略	略	略
3月(計画)	2 2	1 0	3 2	(38) 2 9	(39) 3 3 3
1～3月計	(1) 1 7 3	(3) 1 6 0	(5) 3 3 3 (40) @ 6 0 . 0 6	(10) 1 4 5	P 2 より

P 3 : [3] 「当期実績予想：仕入計画表」
1～3月平均仕入単価より

経理規程より、たな卸資産の評価方法：「先入先出法」
期末商品たな卸高

$$= (40) @ \underline{60.06} \text{ 千円} \times (39) \underline{333} \text{ kg}$$

$$= (41) \underline{20,000} \text{ 千円}$$

[5 - 2] 「 (× 1 年 3 月 3 1 日) 当期末実績予想 :
修正後残高試算表」 (売上原価) の作成

[5 - 2] 当期末実績予想 : 修正後残高試算表
(× 1 年 3 月 3 1 日現在の実績予想)

			X0.12.31	X1.1.1～3.31 (発生予想)		X1.3.31現在
N O	総勘定 科目	貸 借	実績残高 (千円)	借方 (千円)	貸方 (千円)	実績予想 期末残高 (千円)
略	商品	借	(42) 0	(53) 20,000	(49) 0	(54) 20,000
	期首商品 たな卸高	借	(43) 0	(50) 0		(51) 0
略	仕入高	借	(44) 60,000	(47) 20,000		(48) 80,000
略	期末商品 たな卸高	貸	(45) 0		(52) 20,000	(55) 20,000
	差引売上 原価		(46) 60,000	(56) 20,000	(57) 20,000	(58) 60,000

P4 「12月末現在の残高試算表
(仕入高) < 参考 >」 より記入

P2・8 「当期実績予想 : 商品仕入兼在庫計画表」
より、期末商品たな卸高」 の値を記入

[6 - 2] 「当期実績予想：損益計算書」（売上原価）の作成

$$\textcircled{3} \div \textcircled{2} \times 100\% = \textcircled{4} \text{端数四捨五入}$$

[6 - 2] 当期実績予想：損益計算書

科 目	貸借	変 / 固	消費税	①当期 実績予想 (千円)	② 当期予算額 (千円)	③ 予算差異 (千円)	④ 予算 差異 率%	分析・ 評価
売上原価				借方科目：①－②＝③ / 貸方科目：②－①＝③				
期首商品 たな卸高	借			(59) 0	0	(64) 0	—	今期事 業開始
当期商品 仕入高	借		○	(60) 80,000	102,000	(65) 22,000	(66) 22	販売 不調等
小計	借			(61) 80,000	102,000	(67) 22,000		
期末商品 たな卸高	貸			(62) 20,000	12,000	(68) △8,000	(69) △67	過剰 在庫
差引 売上原価	借	変		(63) 60,000	90,000	(70) 30,000	(71) 33	売上減 少 ・キャンセル

[8 - 1] 「次期予算編成方針」の「当期実績の概況と課題」 (売上原価) への記載

[8 - 1] 次期予算編成方針

区分	内 容
1 当期実績の概況と課題	<p>．．．略．．．</p> <p>当期の売上原価は、(72) <u>60,000</u> 千円、予算比 (73) <u>33</u> % (74) <u>減</u> となった。</p> <p>主たる要因は、(75) <u>売上減少・キャンセル</u> に起因している。．．．略．．．</p>
2 次期予算の課題 【商品仕入方針】	<p>．．．略．．．</p> <div>P 1 0</div> <p>[6 - 2] 当期実績予想：損益計算書より記入</p>
略	略

[9] 「当期末実績予想：比較貸借対照表」 （商品） の作成

[9] 当期末実績予想：比較貸借対照表
(×1年3月31日)

N0	総勘定科目	貸借	前期末 (千円) ①	当期末 (千円) ②	増減差額 (千円) ②－①＝③
			前期T/Bより ↓		
略	商品	借	(76) 0	(77) 20,000	(78) 20,000

P 9 [5-2]
「当期実績予想：修正後残高試算表」
の翌3月末現在の商品残高を記入

P 1 3 「当期実績予想
：【間接法】キャッシュ・
フロー計算書組替仕訳」へ
転記

[10] 「当期実績予想：キャッシュ・フロー計算書組替仕訳」（たな卸資産の増減額）の作成

± B S : 比較貸借対照表の増減差額 C F : キャッシュ・フロー計算書

[10-1] 当期実績予想：キャッシュ・フロー計算書組替仕訳

借 方		貸 方	
科 目	金額（千円）	科 目	金額（千円）
		± B S 商品の増加	(79) 20, 000
C F たな卸資産の増減額	(80) 20, 000		
借方合計	(81) 20, 000	貸方合計	(82) 20, 000

C F 科目は符号（＋－）をつけるので「貸方科目」として固定する。

[10-2] 当期実績予想：キャッシュ・フロー計算書組替仕訳

借 方		貸 方	
科 目	金額（千円）	科 目	金額（千円）
		± B S 商品の増加	(85) 20, 000
		C F たな卸資産の増減額	(86) △20, 000
借方合計	(83) ー	貸方合計	(84) ー

[1 1] 「当期実績予想：キャッシュ・フロー計算書」作成

[1 1] 当期実績予想：キャッシュ・フロー計算書 (×0年4月1日～×1年3月31日)

N0	科 目	金額 (千円)	分析・評価
	たな卸資産の 増減額	(87) △20,000	B2：過剰在庫 ⇒次期対策：商品在庫水準 許容商品回転期間 B3：2.2ヵ月

P13 [10-2]
「当期実績予想：キャッシュ・フロー
計算書組替仕訳」より転記

P15
「次期予算編成方針」
へ反映する。
【予算のPDCAサイクル】

[8 - 2] 「次期予算編成方針」の「当期実績の概況と課題」への記載

[8 - 2] 次期予算編成方針

区分	内 容
1 当期実績の概況と課題	<p>．．．略．．．</p> <p>キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローについては、下記の状況になっている。</p> <p>．．．略．．．</p> <p>たな卸資産の増減額 (88) <u>△20,000</u> 千円となっており、原因は (89) <u>過剰在庫</u> である。</p>
2 次期予算の課題 【商品仕入方針】	<p>．．．略．．．</p> <p>許容商品回転期間 (90) <u>2.2</u> カ月、</p> <p>．．．略．．．</p>
略	略

P 1 4 [1 1] 「当期実績予想：キャッシュ・フロー計算書」より記入



今回の問題はいかがだったでしょうか？
疑問や不明な点、ご意見等ございましたら、
遠慮なくお問い合わせください。

問い合わせ先： yosanmember@3cc.co.jp